

## 令和2年度 川口市行政評価外部評価委員会 評価対象事業総括表

(単位:千円)

部会	事業名 (担当課)	今後の 事業方針 [事業担当課]	予算編成状況		予算額の推移	
			令和3年度 予算要求 [事業担当課]	予算編成結果 [財政課]	令和2年度	令和3年度
第一部会	① クリーン推進員事業 (資源循環課) 【P1~2】	現状維持 で実施	前々年度と同水準 (要求額: 16,740)  ※委嘱実施年度 (隔年実施)	ほぼ要求額 どおり	14,799	16,637
	② 文化財センター施設運営費 (文化財課) 【P3~4】		増額 (要求額: 1,929)  【増額理由】 外部評価の結果を受け、イベントの企画立案やコンテンツの配信、広報等を行っていくため			
	② 郷土資料館施設運営費 (文化財課) 【P3~4】		増額 (要求額: 6,873)  【増額理由】 外部評価の結果を受け、イベントの企画立案やコンテンツの配信、広報等を行っていくため	要求額 どおり	6,531	6,873
	③ 商店街活性化事業 (産業振興課) 【P5~6】		増額 (要求額: 104,873)  【増額理由】 新型コロナウィルス感染症対策のため			
第二部会	④ 中学校・高等学校 運動指導者派遣事業 (スポーツ課) 【P7~9】	現状維持 で実施	前年度と同水準 (要求額: 2,090)	要求額 どおり	2,095	2,090
	④ 部活動指導員配置事業 (指導課) 【P7~9】		前年度と同水準 (要求額: 10,467)  ※採用予定人数が 2名減員のため、 やや減額			

事業名	クリーン推進員事業	担当課	資源循環課	部会	第一部会
-----	-----------	-----	-------	----	------

## 1 事業概要

事業目的	視点
地域住民と行政が一体となって活動することにより、ごみの排出抑制・減量化・資源化を推進するとともに環境美化を図る。	事業の効果
事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルール違反、不法投棄に関する随時の報告、要望、相談への対応</li> <li>・年4回の報告書に対する対応</li> <li>・活動に必要な研修会の実施</li> </ul> <p>【任期】2年  【報償】1,800円／月  【推薦方法】町会、自治会の会長は、その区域内に住民登録を有する者を推進員として推進し、市長は推薦された市民の中から推進員を選考し委嘱する。</p>	

## 2 外部評価委員からの主な評価コメント

(1) クリーン推進員を知らない市民も多いため、より多くの人に知ってもらえるようPRに力を入れてほしい。
(2) 地域によっては、クリーン推進員が不要な地域もあるため、全地域に対して同じ仕組みで実施する必要はないのではないか。市全域での対応ではなく、必要な地域に必要な人員を配置する仕組みをつくる必要がある。

## 3 外部評価委員会からの評価コメントに対する事業担当課の主な対応方針

(1) 環境部広報紙PRESS530や広報かわぐちでクリーン推進員制度を周知し、認知度を深めていきたい。また、HP上で制度を紹介することを検討している。
(2) ごみ集積所への不法投棄連絡など、市内全域でクリーン推進員に活動いただいている現況を踏まえ、現在の制度を維持してまいりたい。また、地域の問題点を把握し、実情にあった協力を行っていく。

#### 4 担当課の令和3年度予算作成にあたっての考え方

本市における廃棄物の減量啓発、環境美化活動等に必要不可欠な存在であり、いただいたご意見を踏まえて、今後も制度を維持するための予算を確保してまいります。

#### 5 予算編成結果

予算要求額	16,740
財政課の 予算編成結果	16,637
その理由	消耗品費について決算額にあわせて減額査定するもの。 要求額 1,103千円 → 1,000千円 △103千円 H30 決算額 877千円

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	予算額	前年度比
令和元年度	16,449	
令和2年度	14,799	-1,650
令和3年度	16,637	1,838

事業名	文化財センター施設運営費 郷土資料館施設運営費	担当課	文化財課	部会	第一部会
-----	----------------------------	-----	------	----	------

## 1 事業概要

事業目的	視点
<p>【文化財センター施設運営費】 市内に所存する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。</p> <p>【郷土資料館施設運営費】 市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。</p>	施設のあり方 今後の方向性
事業内容	
<p>【文化財センター施設運営費】 文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する講座等の開催のほか、企画展を開催する。</p> <p>【郷土資料館施設運営費】 文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。</p>	

## 2 外部評価委員からの主な評価コメント

(1) 外部の力を活用してイベントを実施しているが、さらに活用することで、より幅広く、魅力的な事業が展開できるのではないか。
(2) 移転・統合について漠然としているため、具体的に検討すべき時期なのではないか。その他、改善点は多数あるが、新型コロナウィルス対応で集客が難しい中、今後も様々なコンテンツを駆使して頑張ってほしい。

## 3 外部評価委員会からの評価コメントに対する事業担当課の主な対応方針

(1) 実績のある民間事業者を活用しながら、イベントの企画立案や広報等を行っていく。
(2) 今後、移転の際には、統合も含めて検討していく。また、新型コロナウィルス対策として、新しい生活様式が求められる中、さまざまなコンテンツを駆使しながら、歴史や文化の魅力を発信し、集客に努めていく。

## 4 担当課の令和3年度予算作成にあたっての考え方

実績のある民間事業者を活用したイベント開催や、インターネットを利用したPR・学習支援コンテンツの配信など、集客につながる取り組みを予算作成に反映させていく。

## 5 予算編成結果

	文化財センター施設運営費	郷土資料館施設運営費
予算要求額	1,929	6,873
財政課の 予算編成結果	1,929	6,873
その理由	会計年度任用職員の時給単価の上昇により、いずれの事業も前年度と比べ、予算額は増となっているが、事業費ベースで見ると、外部評価の結果を受け、イベントの企画立案やコンテンツの配信、広報等を行っていくためには、適正な額と考え、要求額どおりとしたもの。	

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	文化財センター施設運営費		郷土資料館施設運営費	
	予算額	前年度比	予算額	前年度比
令和元年度	2,019		6,011	
令和2年度	1,790	-229	6,531	520
令和3年度	1,929	139	6,873	342

事業名	商店街活性化事業	担当課	産業振興課	部会	第二部会
-----	----------	-----	-------	----	------

## 1 事業概要

事業目的	視点
川口市の商業環境は、消費者の生活様式の変化、消費者ニーズの多様化により大変厳しい状況となっている。こうした中、消費者ニーズを的確に捉えた人が集う商業環境づくりが緊急の課題になっているため、地域の特性を活かし人が集える魅力的な商店街活動を支援し、活性化を図る。	事業の効果
事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街等が実施するソフト事業・ハード事業への補助</li> <li>・空き店舗を活用し事業を始める際の改修費への補助</li> <li>・商店街等が所有する街路灯等の電気料への補助</li> <li>・商店街が実施する美化促進に係る費用への補助</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	

## 2 外部評価委員からの主な評価コメント

(1) 数的比較等が他の事業とできるわけではないが、概ね有効に機能していると思う。しかし、有効性の検証がなされていないと思われる。
(2) 1985年以降、社会状況が大きく変化してきた上に、今年度のコロナ感染症問題でより大きな変化が起こることが想定される。戦略を持たない現状は不安である。市としての今後のビジョン、例えば中小商店街のいくつかを1つの大きな規模の商店街にまとめ、大型店に負けない力をつけてもらうことや、中小商店街がともかく倒れることがないように市が助けていくなど、目指すところをある程度決めるべきだと思う。

## 3 外部評価委員会からの評価コメントに対する事業担当課の主な対応方針

(1) 事業を継続することで、地域に根ざしている事業もあるため、一定の効果はある。しかしながら、有効性の検証が必要な事業に対しての十分な検証はなされていないため、今後、適正な検証方法等の実施について検討していく。
(2) 来年度予算においては、更なるコロナ対策に向けた取組みとして、空き店舗を活用した補助金に加え、今年度補助率等の見直しを行った商店改修事業補助金の大幅な引上げを検討している。商店街は、それぞれの地域に適した役割を担い発展してきた歴史がある。しかしながら、商店街を取り巻く環境は大きく変化し、商店街のまちづくりや事業活動を効率的に行なうことが求められている。既存の制度を有効活用しながらも、「カネ」から「チエ」への転換が不可欠であり、これまで以上に行政や経済団体との関わりを強化するなど、新たなビジョンの確立に向け取り組んでいく必要がある。

## 4 担当課の令和3年度予算作成にあたっての考え方

予算作成にあたり当課の予算は、商店会及び商店を経営している個人等に補助する項目が多い。支出先の運営環境等がより良くなることで、その街に住む住民の利便性が高まることに繋がる。また、その執行においては受け身ではなく、主導的な立場になることも考慮しつつ、積極的な予算の活用方法を検討していく。

## 5 予算編成結果

予算要求額	104,873
財政課の 予算編成結果	104,873
その理由	商店街空き店舗活用事業補助金及び商店改修事業補助金を増額しているものの、新型コロナウイルス感染症対策として増額していることから要求どおりとしたもの。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	予算額	前年度比
令和元年度	69,775	
令和2年度	67,164	-2,611
令和3年度	104,873	37,709

事業名	中学校・高等学校運動指導者派遣事業 部活動指導員配置事業	担当課	スポーツ課 指導課	部会	第二部会
-----	---------------------------------	-----	--------------	----	------

## 1 事業概要

事業目的	視点
<p><b>【中学校・高等学校運動指導者派遣事業】</b> 川口市立中学校・高等学校運動部活動の充実を図るために、教育に対する理解と専門的な技術指導力を備えた指導者を、地域住民の中から協力者として支援できるようにする。</p> <p><b>【部活動指導員配置事業】</b> 教育に対する理解及び地域の専門的技術力を備えた指導者を顧問として配置することにより、部活動の充実・活性化を図り、また、学校の教育力・組織力を効果的に高めるとともに、教員の負担軽減を図る。</p>	統合合理化事業の効果
事業内容	
<p><b>【中学校・高等学校運動指導者派遣事業】</b> 各学校の運動部活動における、生徒への技術指導への協力と援助を行う。</p> <p><b>【部活動指導員配置事業】</b> 配置校の教員と連携して、顧問として部活動の指導、大会・練習試合・コンクール等に係る生徒の引率、監督、安全指導および生活指導等の活動を行う。</p>	

## 2 外部評価委員からの主な評価コメント

(1) リクルートメントとリスク管理は非常に難しいと考えられる。
(2) スポーツ課と指導課は、少々異なるロジックをもっているように感じられた。両制度の学校教育への関与の度合いの違いによると思われるが、意思統一が重要と考える。

## 3 外部評価委員会からの評価コメントに対する事業担当課の主な対応方針

<p><b>【中学校・高等学校運動指導者派遣事業】</b></p> <p>(1) 学校長が指導者を選任する際に面談を実施するなど、指導者の適性を把握する。また、学校、顧問、指導者への実態調査を行い、事業を活用する学校に対して有益なものとなるように改善していく。</p> <p>(2) 指導者の配置を希望する学校のニーズに対応することのできる採用形態として2事業を継続していく。</p> <p><b>【部活動指導員配置事業】</b></p> <p>(1) ホームページでの公募及び各中学校への公募の周知を行い、人材確保に努める。また、研修会を通して、人材育成に努める。</p> <p>(2) 両事業のニーズに対応した採用方法をとっていく。</p>
--

## 4 担当課の令和3年度予算作成にあたっての考え方

### 【中学校・高等学校運動指導者派遣事業】

本事業に対する学校のニーズが高いことから、令和2年度と同規模の予算作成を行っていく。

### 【部活動指導員配置事業】

各学校からの予備アンケートをもとに、人数（17名の予定）を割り出し、予算請求をしていく。

## 5 予算編成結果（スポーツ課）

予算要求額	2,090
財政課の 予算編成結果	2,090
その理由	前年度と同規模の予算となっており、運動部活動における技術指導及び顧問の負担軽減に資するため、要求額どおりとしたもの。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	予算額	前年度比
令和元年度	2,095	
令和2年度	2,095	0
令和3年度	2,090	-5

## 5 予算編成結果（指導課）

予算要求額	10,467
財政課の 予算編成結果	10,467
その理由	各学校からの予備アンケートをもとに積算された予算となつておる、部活動における技術指導及び顧問の負担軽減に資するため、要求額どおりとしたもの。

※（参考）当初予算額の推移

単位：千円

年度	予算額	前年度比
令和元年度	7,920	
令和2年度	12,386	4,466
令和3年度	10,467	-1,919